



2015年度第7位

グラクソ・スミスクライン Orange United

チームの目標

「自信と覚悟」を持って挑む!!を今シーズンのテーマとしてチーム愛のもと「自主性」をもって、「楽しむ」をことを忘れずに、互いに切磋琢磨しながらチーム力向上を目指し最高の結果を残す。要となる柴田あかね(MF11)の突破力と、斎藤美咲(MF9)の展開力を軸にチームの悲願でもある日本リーグ初優勝を目指します。

チーム沿革

GSK Orange Unitedは、女子ホッケー界では最も歴史と伝統ある実業団チーム。1980年の栃木国体を契機に日光市(旧今市市)の要請を受けて1976年創部。以来、栃木県ホッケー協会をはじめ、地域社会とのつながりを持ちながら、その信頼に応えるべく地元ホッケーの発展はもとより、日本ホッケー界の発展のため、真摯に取り組んでいる。「生きる喜びをもっと」を私たちの使命とし、仕事とホッケーを両立させながら、フェアなスポーツ精神を発揮し、目標である「日本一」達成のために日々努力している。



STAFF

| | | |
|-----------------|--------------|----------------|
| オーナー Jim Fox | 部長 陰山 治久 | トレーナー 君島 保裕 |
| 監督 沼尾 健一 | 事務局 廣田 純子 | 主務 伊藤 彩乃 |
| トレーナー 村越 弘紀 | | |

CAPTAIN COMMENT

MF 9 齋藤 美咲
Misaki Saito

昨年は7位という結果で終わりその悔しさをバネに、昨シーズン終了後から日本リーグ開幕に向けて一人一人がトレーニングに励んできました。今シーズンは4名の新人が加入し、昨年とはまた一味違ったGSKのプレーに期待して下さい。「GSKらしく元気に楽しむ」をモットーにチーム一丸となり結果にこだわっていきます。Orange Unitedの応援よろしくお祈りします!!!

2015年度

高円宮杯日本リーグ 第7位
全日本社会人選手権 第3位
全日本女子選手権 第3位

UNIFORM

| | |
|--|--|
| | |
| FP | FP |
| S H I R T ▶ オレンジ P A N T S ▶ オレンジ S T O C K I N G ▶ オレンジ | S H I R T ▶ スカイブルー P A N T S ▶ スカイブルー S T O C K I N G ▶ スカイブルー |
| GKシャツ ■ ロイヤルブルー | GKシャツ ■ イエロー |

主な戦績

- 高円宮杯日本リーグ
2005年/第2位
2004・2006・2009年/第3位
2003・2007・2013・2014年/第4位
- 全日本女子選手権
1982・1983・2003年/第2位
- 全日本社会人選手権
1982・1995・2003年/優勝
1986・1987・1988・1989・1994
2007年/第2位
- 全日本実業団
1978・1979・1980・1985・1990年/優勝
1984・1987・1989・1997年/第2位

PICK UP PLAYERS



FB 10 松瀬 有里
チームからも大きな信頼を得ている沈着冷静な判断のできる守備の要。安定感が増し、更なる飛躍が期待される。



MF 13 伊藤 彩乃
スピード抜群のプレーで相手守備を切り裂く。状況を一瞬にして変えるドリブル突破は目が離せない。

PLAYERS

Cap キャプテン Star 期待の星 New 新規登録選手 移籍 移籍選手
①生年月日(年齢) ②血液型 ③身長・体重 ④出身地 ⑤ホッケー歴
⑥出身校 ⑦職業(会社名) ⑧ユース・ジュニア日本代表候補選手経験の有無
⑨シニア日本代表候補選手経験の有無、国際キャップ数、主な出場大会

| | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|
| GK 1 川村 彩華 Ayaka Kawamura ①1988.8.6(27) ②AB ③161/57 ④栃木県 ⑤18年 ⑥今市高→東海学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) | MF 2 吉田 美瑞穂 Mizuho Yoshida ①1992.3.28(24) ②B ③155/59 ④青森県 ⑤15年 ⑥三沢高→山梨学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) | FB 3 近藤 理美 Satomi Kondo ①1993.1.26(23) ②B ③156/54 ④福井県 ⑤11年 ⑥丹生高→山梨学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ジュニア2011・2012年 | FB 4 山中 優 Yu Yamanaka ①1990.9.17(25) ②B ③169/64 ④奈良県 ⑤14年 ⑥羽衣学園高→天理大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) | FB 5 加藤 夏美 Natsumi Kato ①1995.8.30(20) ②A ③150/48 ④栃木県 ⑤12年 ⑥今市高 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2013年 | FW 6 中畠 地 里沙 Risa Nakasechi ①1990.11.19(25) ②A ③157/53 ④鹿児島県 ⑤16年 ⑥鶴屋高→山梨学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2008年 |
| FW 7 狐塚 美樹 Miki Kozuka ①1996.1.13(20) ②A ③155/52 ④栃木県 ⑤9年 ⑥今市高 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2013年 ⑨2014年ユースオリンピック | FW 8 片峯 美里 Misato Katamine ①1988.9.3(27) ②O ③154/50 ④栃木県 ⑤18年 ⑥今市高→東海学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ジュニア2008年 | MF 9 齋藤 美咲 Misaki Saito ①1990.3.27(26) ②AB ③161/54 ④栃木県 ⑤15年 ⑥今市高→東海学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2007年 | FB 10 松瀬 有里 Yuri Matsuse ①1992.2.15(24) ②A ③152/52 ④岐阜県 ⑤10年 ⑥岐阜各務野高→山梨学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2009年 ジュニア2011年 | MF 11 柴田 あかね Akane Shibata ①1988.4.30(27) ②A ③153/50 ④栃木県 ⑤20年 ⑥今市高→天理大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2006年、ジュニア2007・08年 ⑨シニア2011年～、2012年ロンドンオリンピック、2013年AC-ACT 2014年WC-AG-CT、2015年WLSF /CAP数121 | FW 12 山口 稚奈 Wakana Yamaguchi ①1992.9.18(23) ②A ③158/54 ④栃木県 ⑤16年 ⑥今市高→東海学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2010年 |
| MF 13 伊藤 彩乃 Ayano Ito ①1991.6.2(24) ②AB ③162/50 ④栃木県 ⑤14年 ⑥今市高→天理大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2009年 ジュニア2011年 | MF 14 尾関 愛美 Aimi Ozeki ①1994.1.20(22) ②B ③156/57 ④岐阜県 ⑤10年 ⑥岐阜各務野高→駿河台大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2012年 | FW 15 市山 由貴 Yuki Shiyama ①1990.6.19(25) ②O ③155/53 ④富山県 ⑤16年 ⑥石動高→東海学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2008年 | FW 16 永野 未菜 Mina Nagano ①1993.11.11(22) ②A ③155/49 ④大阪府 ⑤17年 ⑥不來方高→山梨学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2009・2010年 ⑨2012年ユニバーシアード 2011年CT 2012年ロンドンオリンピック | MF 17 田中 泉樹 Izuki Tanaka ①1992.4.7(23) ②B ③167/60 ④岩手県 ⑤11年 ⑥不來方高→山梨学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ユース2009・2010年 ⑨2012年ユニバーシアード 2011年CT 2012年ロンドンオリンピック | GK 18 大家 涼子 Ryoko Oie ①1988.6.4(27) ②A ③167/59 ④鳥取県 ⑤11年 ⑥八頭高→駿河台大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) ⑧ジュニア2007・2008年 ⑨シニア2011年～2013年AC-ACT 2014年WC-CT、2015年WLSF /CAP数43 |
| FW 19 五島 梨奈 Rina Goshima ①1993.6.27(22) ②O ③166/55 ④山梨県 ⑤12年 ⑥巨摩高→山梨学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) | GK 20 鈴木 沙也佳 Sayaka Suzuki ①1993.6.19(22) ②O ③154/54 ④栃木県 ⑤12年 ⑥今市高→駿河台学院大学 ⑦グラクソ・スミスクライン(株) | | | | |



INFORMATION

所在地 ● 〒321-1274 栃木県日光市土沢1506 TEL: 0288-32-1111 FAX: 0288-32-1222

ファンクラブ・後援会

GSKファンクラブ 事務局 廣田純子 連絡先: TEL 0288-32-1111

GSKホッケー部は、ホッケーを通じた地域活動を長年続けており、地元日光市に強く根付いた、市民から愛されているチームです。地元戦では、GSKカラーであるオレンジの応援グッズを使い、社員と地元ファンが一体となってチームを応援しています。仕事もしっかりとこなしながらホッケーに打ち込む選手たちを、ファンを代表してサポートしていきたいと思っています。

<http://glaxosmithkline.co.jp/hockey/>